

8000 シリーズでフルオート運転が実行できなくなる不具合の対策について

はじめに

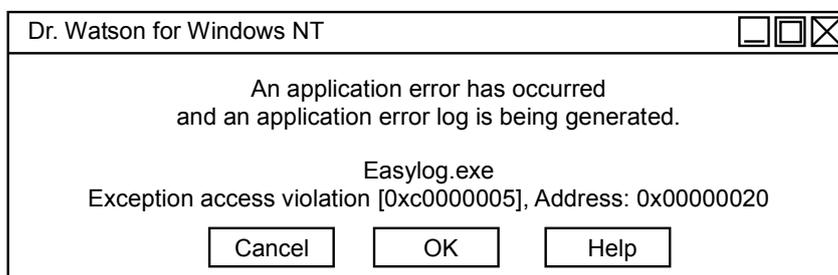
8000 シリーズのソフトウェアで、2016 年 2 月 29 日を過ぎるとフルオート運転が実行できない不具合が発生しています。お客様には、多大なご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

不具合の内容

この不具合が発生すると下記のような症状が現れます。

- ・装置本体のタッチパネルに下記のダイアログが表示される

Windows NT の場合



Windows XP の場合



- ・メッセージレコード、およびプロセスレコードが記録されない
- ・タッチパネルのマシンモニタ画面の内容が正常に表示されない（カセットを設置しても「Detect」が表示されないなど）
- ・HOST 通信（SECS/HSMS）のエラーが発生する

暫定対策

暫定対策用のバッチファイルを実行し、12 月 31 日のログファイルを削除することで、不具合の発生を 2016 年 12 月 31 日以降にずらすことができます。この対策を行うと、12 月 31 日のログファイルは消失します。

この対策はバッチファイルを用いて、お客様が実施することもできますので、弊社にお問い合わせください。

Technical Newsletter

#tnl2016-0009j
2 / 2



恒久対策

修正ソフトを 2016 年 4 月 30 日までにリリースし、順次対応します。

不具合の原因

うるう年に起因するソフトウェアの処理に不具合が内在していたことが原因です。

不具合が発生していないお客様へ

年間で終日、装置の電源が OFF になっている特定の休業日がある（例えば過去に一度も 1 月 1 日は電源を ON していないなど）場合は、2016 年 2 月 29 日を過ぎてもこの不具合が発生することはありません。

ただし、修正ソフトをインストールする前にその特定の休業日に装置を起動すると、この不具合が発生します。

対象機種、および対象ソフトウェアバージョン

以下の機種の全てのソフトウェアバージョンが対象になります。

- DFP8140/DFP8160
- DFG8340/DFG8360/DFG8540/DFG8560/DFG8830
- DGP8760/DGP8761
- DTG8440/DTG8460

お問い合わせ

本件についてのお問い合わせは、弊社営業担当、またはサービス拠点までお願いいたします。
